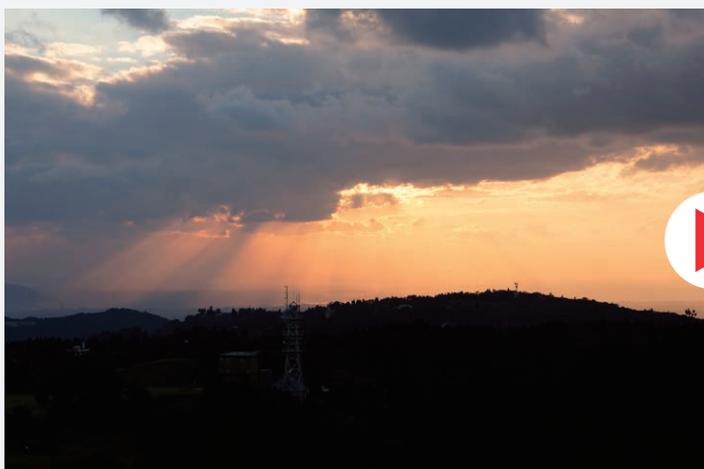


# 眼科画像鮮明化

～リアルタイム画像鮮明化・復元高解像度化～



Before



After

## 座長 井上 真 先生 / 杏林大学

糖尿病網膜症診療ガイドラインの冒頭に「糖尿病網膜症の診療における目標は、視機能障害を予防し、障害された視機能を可能な限り回復させることである。そのために、検査結果に基づく早期の糖尿病網膜症の診断と、適切な時期における治療介入が不可欠である。」と記されています。

糖尿病網膜症に限らず病変の早期発見は非常に重要ですが、これに寄与できる新たな技術として画像鮮明化アルゴリズム「MIEr-テクノロジー」があります。

この技術は撮影・観察された画像・映像が本来持っているポテンシャルを最大限に可視化できる国産技術です。鮮明化することで情報量が大幅に増え、病変の詳細を今まで以上に把握できます。

眼科は他科に比べて多種の画像を扱うことが多く、この技術が眼科の日常診療に導入されることは非常に意義があると考えます。画像鮮明化アルゴリズム「MIEr-テクノロジー」はリアルタイムに鮮明化した詳細情報を示すことで、医師のみならず患者にとっても自身の病状をより明確に理解することが可能になります。

今回のセミナーでは開発企業ロジック・アンド・デザイン社の井上宏一氏にこの画像鮮明化アルゴリズム「MIEr-テクノロジー」の原理を、臨床現場での製品使用とその有用性についてはMIE眼科四日市の大澤俊介先生と私が解説をさせていただきます。

画像・映像の鮮明化処理前・後をご自身の目で確かめていただきたいと思っておりますので、是非本セミナーにご参加いただければと存じます。

## 演者



### 画像鮮明化の有用性について

井上 真 先生  
杏林大学



### 眼科画像鮮明化の現在と未来

大澤 俊介 先生  
MIE眼科四日市



### 画像鮮明化アルゴリズム「MIEr-テクノロジー」について

井上 宏一  
株式会社ロジック・アンド・デザイン